第 2 回研究設備センター先端研究設備部門会議議事録

日時：平成 2４年 7 月 23 日 16:30～17:30
場所：東 8 号館 2F 会議室
出席者：青山、牧、守屋、桑原、小島（産学官連携センター）、加藤研究支援員、野崎（敬称略）

審議事項

1. 先端研究設備部門予算
   別紙 2-1 のとおり、平成 24 年度の予算配分が了承された。研究設備センター専属桑原准教授が財務の嶋宮さんに各経理分類に配分してもらうよう依頼する。
2. 先端研究部門学術技師人事提案
   部門長の提案通りの別紙 2-2 の人事提案書を桑原先生から研究設備センター長に提出することを了承した。
3. 装置の更新および設備マスタープランについて先端研究設備部門の対応
   先端研究設備部門では、使用状況、更新の必要性から判断して先端研究設備部門内の装置について順位づけを行う。そのためには、研究設備センターの予約システムを活用する。使用状況については、使用教員数に限らず、ベンチャーのための利用、産学官連携のための利用なども考慮する。ベンチャー、産学官連携の目的がわかるよう、申請時には研究題目にその旨を記入する。
4. 3 室連携ルームについて
   前回の部門会議で了承された 3 室連携ルームについて加藤研究支援委員により設備の配置図が配布され、説明され、提案通り準備を進めることにした。
5. 研究成果報告書について
6. 研究設備センター年報の先端研究設備部門の報告書には、加藤研究支援委員による研究設備の紹介、先端研究設備部門の施設を利用する電通大発ベンチャー企業（AMS、ナノテコ）による開発状況、施設利用者の研究報告を掲載することにした。
7. その他
   先端研究設備部門の施設では、ものづくりからものの評価までの一連の製品開発が可能であるため、産学連携に適している。先端研究設備部門の施設を活用して産学連携を促進するために、今回から産学官連携センターの小島氏を部門委員として迎えて、助言をもらうことにした。まずは、小島氏に先端研究設備部門の施設を理解していただくのに、産学官連携 DAY で見学者に配布した資料を渡した。多摩信用金庫などを通して産学連携の協力を呼びかけていくことを確認した。

次回（第 2 回）先端研究設備部門会議開催予定日は後期の時間割が決定してから調整する。